

設問. 下記の文章において、作者（飼いネコにマイクロチップを入れようと思い獣医さんに連れて行った人）と「獣医さん」は、ネコの体内から2つのチップが両方反応していることがわかった時点で、お互いに相手を責め合い、けんかになった可能性もあります。このようなけんかを避けるために、あなたが作者の立場なら、何を言わないようにして、何を言うようにしますか。あなたが獣医さんの立場なら、何を言わないようにして、何を言うようにしますか。またこれらを踏まえて、心理学科でどのようなことを学んでいきたいかを800字以内で述べてください。

### 人間は「記憶マシン」にはなれない

先日、飼いネコにマイクロチップを入れようと思い獣医さんに連れて行きました。「2022年6月以降に新たに犬やネコをペットショップやブリーダーから購入する場合は、マイクロチップの装着が必要」というニュースを見たからです。

いつもの獣医さんにマイクロチップを埋め込んでもらい、その後、リーダーの番号とチップの番号が合うかをチェックしてもらいます。

しかし、なぜかそれが合わない。「あれ？あれ？」と獣医さんも慌てています。

そして数分後、意外なことが分かりました。なんと、うちの猫は今回埋め込む前から、別のチップがすでに入っていたのです。最初のチェックの際に反応していたのはその古いチップでした。新しいチップ

のほうもその後、反応したことで、今回の<sup>てんまつ</sup>顛末が明らかになったのでした。

さて問題は、古いほうのマイクロチップは誰が、いつ入れたのか、です。その獣医さんには長く通っていますが、カルテに記録がなく、今回が初めてと言っていました。では誰が？

そのとき、それまではまったく覚えていなかったのですが、ペットショップで購入した際に業者が埋め込んだということを思い出しました。説明は受けたものの、その後、すっかりその記憶がなくなってしまった、というわけです。結局、そのときに埋め込んだ新しいチップを取り出さなければならず、ネコには余分に痛い思いをさせてしまいました（ごめんね、ゆきちゃん）。

「人は忘れるものだ」ということすら忘れてしまう？

人間は記憶マシンではありません。記憶というのは非常に脆弱なものです。経験をした時には「このことは絶対に忘れない」と思っていたことでも、少し時間がたつとすっかり忘れてしまうことが頻繁にあります。大切にしているネコのことさえ覚えていられないのですから、ましてや意識していなかったことであれば、覚えている方がまれなのです。

人は、こうして忘れてしまうものである以上、せめて「人は忘れるものだ」ということだけでも記憶にとどめておかなければいけません。これは、仕事でも、それ以外の事柄でも同様です。

出典：「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか？ 今井むつみ 日経 BP